提出第２号

株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２４３条の３第２項の規定により、株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和８年９月３日提出

京丹後市長　中　山　　泰

令和７年度
事　業　報　告　書

株式会社　くみはま縣

令和７年度事業報告

総括的概要

株式会社くみはま縣の令和７年度（第２７期）収支状況は、売上金額は前年度比の１０１．４％にあたる１５５，４１１，９９５円（前年度は１５３，２２１，８４８円）と、前年度に比べ微増し、経常利益は前年度比の１０５．７％にあたる２，３５０，８３８円の黒字計上（前年度は２，２２３，２１７円）となりました。

レストラン部門につきましては、前年度と同様、通常の営業日数を確保して営業する中で、来客数は前年度比の９４．９％に当たる１５，６９８人（前年度は１６，５４１人）、売店の延べ利用人数は前年比の９３．９％にあたる７５，２１６人（前年は８０，０６７人）といずれも減少し、前年度を下回る結果となりました。これらの要因として、降雪日数の増加等による来場者数の減少が影響したものと考えられます。これに伴い、施設全体の利用者数は前年比の９５．０％にあたる１３５，４２４人（前年度１４２，４９１人）となり、前年度を下回る結果となりました。

また、販売費及び一般管理費については前年比の９９．２％にあたる２８，１３７，１９２円（前年度は２８，３５３，８１８円）となり、経費の抑制に努めた結果、前年を下回る結果となりました。

施設利用者数は前年度より減少しましたが、周年的・定期的なイベント開催による地元や遠方の顧客の呼び込み、「道の駅」としての魅力発信をＨＰやInstagram、Facebookといったインターネットを中心としたＰＲを行い、交流販売拠点施設として、生産者・従業員・スタッフが一体となって、継続して営業を展開してきたことが、売上金額増加に繋がってきていると思われます。イベントとしましては、「GWイベント」（４月・５月）や「くみはまSANKAIKAN２６周年祭」（１０月）や「道の駅１４周年スイカ祭」（６月）をはじめとした定期的なイベント開催のほか、「メロン祭り」（７月）、「秋の大収穫祭」（９月）や各種フルーツ狩り体験などを実施して、誘客を行いました。

施設内において安心安全な地元農作物を直販する「菜〇野果市」については好評であり、地域経済を大切にしながら地域振興を目指す弊社の活動は、観光客を始めとする交流人口の増加や地元産の農林水産物の販売促進につながっており、地域活性化に寄与しているものと考えます。

くみはま SANKAIKAN

令和７年度　月別事業報告書

●４月

・4 月 16 日～　　久美浜産板ワカメ販売開始

・4 月 26・27 日　　SANKAIKAN イベント「GW イベント第 1 弾」開始

●５月

・5 月 4・5 日　　くみはま SANKAIKAN「GW イベント第 2 弾」開催

●６月

・6 月 13 日～　　久美浜特産砂丘スイカ「砂丘のたまご」販売開始

・6 月 21 日～　　Masanobu メロン販売開始

・6 月 20・21 日　　SANKAIKAN イベント「道の駅 14 周年スイカ祭」開催

・6 月 26 日～　　久美浜特産砂丘メロン販売開始

・6 月 28 日～　　メロン狩り開始

●７月

・7 月 5 日～　　ゆめろん Farm のメロン販売開始

・7 月 13 日～　　桃販売開始

・7 月 19・20 日　　くみはま SANKAIKAN イベント「メロン祭り」開催

● ８月

・８月 10 日～　　浜詰さつまいも販売開始

・8 月 11 日～　　菜〇野果市盆花販売

・8 月 12 日～　　梨販売開始

・8 月 24 日　　くみはま SANKAIKAN「特売日」開催

● 9 月

・9 月 1 日　　山開き･･･梨狩り開始

・9 月 3 日～　　ぶどう販売開始

・9 月 19 日　　久美浜産新米販売

・9 月 20・21 日　　くみはま SANKAIKAN イベント「秋の大収穫祭」開催

● 10 月

・10 月 25・26 日　　くみはま SANKAIKAN イベント「26 周年祭」開催

● 11 月

・11 月 2 日　　まるかじりまつり出店

・11 月 6 日～　　かに解禁

「かにすきセット」通信販売開始

・11 月 23・24 日　　くみはま SANKAIKAN イベント「秋のうまいもん市」開催

・11 月下旬　　久美浜産殻付き牡蠣の販売開始(朝市)

● 12 月

・12 月 15 日～　　正月用白餅予約販売

・12 月 20・21 日　　くみはま SANKAIKAN イベント「メリークリスマス」開催

● 1 月

・1 月 15 日～　　節分巻き寿司予約受付開始

・1 月 25 日　　くみはま SANKAIKAN「特売日」開催

● 2 月

・2 月 3 日　　節分巻き寿司販売

● 3 月

・3 月 1 日　　くみはま SANKAIKAN「特売日」開催

決　算　報　告　書

第　27　期

自　令和　7年 4月 1日

至　令和　8年 3月31日

株式会社　くみはま縣

京丹後市久美浜町浦明1709

株式会社　くみはま縣

貸　借　対　照　表

令和　8年 3月31日 現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 24,190,821】	【流動負債】	【 4,519,965】
現金	1,248,820	買掛金	3,039,174
普通預金	20,662,326	未払法人税等	489,900
売掛金	2,175,916	未払消費税等	579,100
商品・製品	42,415	未払費用	401,968
未収入金	52,624	預り金	9,823
前払費用	8,720		
【固定資産】	【 2,009,972】	負債合計	4,519,965
		純資産の部	
[有形固定資産]	[1,862,772]	【株主資本】	【 21,680,828】
建物	930	[資本金]	[20,000,000]
車両運搬具	1	[利益剰余金]	[1,680,828]
工具器具備品	1,688,991	(その他利益剰余金)	(1,680,828)
一括償却資産	172,850	繰越利益剰余金	1,680,828
[無形固定資産]	[147,200]		
電話加入権	147,200	純資産合計	21,680,828
資産合計	26,200,793	負債・純資産合計	26,200,793

株式会社　くみはま縣

損　益　計　算　書

自　令和　7年 4月 1日
至　令和　8年 3月31日

（単位：円）

科　　目	金　　額	
【純　売　上　高】		
売　上　高	156,072,633	
売上値引・戻り高	660,638	155,411,995
【売　上　原　価】		
期首商品棚卸高	35,685	
仕　入　高	126,143,210	
合　計	126,178,895	
期末商品棚卸高	42,415	126,136,480
売上総利益		29,275,515
【販売費及び一般管理費】		28,137,192
営業利益		1,138,323
【営業外収益】		
受取利息	47,641	
雑　収　入	2,091,269	2,138,910
経常利益		3,277,233
税引前当期純利益		3,277,233
法人税、住民税及び事業税		926,395
当期純利益		2,350,838

株式会社　くみはま縣

販売費及び一般管理費

自　令和　7年 4月 1日
至　令和　8年 3月31日

（単位：円）

科目	金額	
【人件費】		
給料手当	5,928,800	
賞与手当	980,000	
法定福利費	1,123,821	
福利厚生費	47,988	8,080,609
【経費】		
広告宣伝費	3,847,314	
荷造運賃手数料	1,066,070	
交際費	10,000	
通信費	463,781	
水道光熱費	5,046,970	
租税公課	34,650	
消耗品費	1,276,062	
賃借料	327,276	
修繕費	62,830	
保険料	118,600	
支払手数料	3,343,352	
諸会費	107,152	
減価償却費	639,069	
運営協力負担金	2,400,000	
衛生費	802,915	
雑費	510,542	20,056,583
合計		28,137,192

株式会社　くみはま縣

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自　令和　7年 4月 1日
至　令和　8年 3月31日

株主資本　　（単位：円）

資本金	当期首残高及び当期末残高		20,000,000
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		△670,010
	当期変動額	当期純利益	2,350,838
	当期末残高		1,680,828
利益剰余金合計	当期首残高		△670,010
	当期変動額		2,350,838
	当期末残高		1,680,828
株主資本合計	当期首残高		19,329,990
	当期変動額		2,350,838
	当期末残高		21,680,828
純資産合計	当期首残高		19,329,990
	当期変動額		2,350,838
	当期末残高		21,680,828

株式会社　くみはま縣

個　別　注　記　表

自　令和　7年 4月 1日
至　令和　8年 3月31日

1.この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2.重要な会計方針に係る事項に関する注記
（1）資産の評価基準及び評価方法
①たな卸資産の評価基準及び評価方法
製品・・・・・売価還元法による原価法
商品・・・・・総平均法による原価法
原材料・・・・最終仕入原価法による原価法
（2）固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産
定額法
（3）消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しています。
3.貸借対照表に関する注記
（1）有形固定資産の減価償却累計額　14,335,974円
4.株主資本等変動計算書に関する注記
（1）発行済株式の種類及び総数に関する事項
発行済株式
普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式）	200株
当期増加株式数（発行済普通株式）	0株
当期減少株式数（発行済普通株式）	0株
当期末株式数（発行済普通株式）	200株

摘要（発行済普通株式）

株式会社　くみはま縣

別紙のとおり報告致します。

令和８年５月２１日

株式会社　くみはま縣

代表取締役　　増　馬　　孝　之

代表取締役　　沖　田　　真　奈　美

取　締　役　　野　村　　拓　也

私監査役は、令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの第２７期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和８年５月２１日

監　査　役　　川　戸　　潤　子

監　査　役　　井　本　　篤　志

令和８年度事業計画

令和８年度方針

昨今の経済情勢は、中東情勢の不安定化等を背景としたエネルギー価格の高騰や物価上昇の継続により、依然として先行き不透明な状況が続いています。これに伴う消費者の節約志向の高まり、個人消費への影響など、景気の下押しリスクも懸念されています。一方で、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により、景気の持ち直しへの期待も見られます。

このような状況の中、私たちが先頭に立って地域経済活動を支え、さらなる活性化を図るという認識のもと、くみはまSANKAIKAN（久美浜総合交流販売施設）の指定管理者として引き続き施設の適正かつ積極的な運営管理を行い、地域特産物の生産・販売を通じた地域の農林水産業の発展に貢献し、市内外の消費者から信頼・期待される施設作りに努めていくことが重要であると考えます。

令和８年度においては、昨年度に引き続き、スタンプラリーなどの「道の駅」登録施設であるメリットを最大限活かす取り組みや「京丹後フルーツトレイル」を継続的に行うとともに、地域内外からの新たな集客による相乗効果をつかむため魅力ある情報発信を進めていきます。

さらに、ふるさと納税の取り組みや、「くみはまSANKAIKANオープン２７周年祭」、「道の駅１５周年祭」等のイベント開催、「久美浜まるかじりまつり」への出店など、ＰＲ・交流活動にも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

販売面では、インターネットを活用したＰＲ、ＥＣサイトでの販売力強化が昨年に引き続き重要であり、年間を通じた農産物の安定した品ぞろえをはじめ、これまでからの継続的課題の改善と発展に努め、安定経営を目指し取り組みを進めたいと考えます。

また、集客の中心的な柱と考えている「菜〇野果市」の運営については、これまで以上に菜〇野果倶楽部との緊密な連携を継続して、農産物・加工品販売の端境期を無くすとともに、年間を通して魅力的な売り場づくりを目指します。

２　具体的な事業計画

収支計画については、黒字を維持するという考えに立って計画を作成しています。また、事業実施にあたっては常に支出経費の抑制に努めるなど、収支改善を検討・実行していくこととします。

具体的な事業計画については、下記のとおりです。

①　「菜〇野果市」の納入者に対してインターネットによるリアルタイムな売上状況を発信します。
②　定期的にオリジナルイベントを開催します。
③　くみはまSANKAIKANオープン２７周年祭、道の駅１５年祭イベントを開催します。
④　市内の各イベントに積極的に参加します。
⑤　地域特産品の開発・商品化に取組みます。
⑥　旅館等の観光業者との連携を強化していきます（ポイントカード発行など)。
⑦　市内観光業者との連携を図ります。
⑧　他の道の駅との連携を強化していきます（スタンプラリーなど)。
⑨　より一層、ＳＮＳやホームページでのＰＲの充実を図ります。

令和 8年度　収支計画

科目		第２７期　実績	第２８期　収支計画
		令和８年３月３１日	令和９年３月３１日
[売上高]		155,411,995	160,000,000
[売上原価]		126,136,480	129,642,415
	期首商品棚卸高	35,685	42,415
	商品仕入高	126,143,210	129,600,000
	期末商品棚卸高	42,415	0
営業総利益		29,275,515	30,357,585
人件費	役員報酬	0	0
	給賞与手当	6,908,800	7,000,000
	法定福利費	1,123,821	1,200,000
	福利厚生費	47,988	50,000
人件費計		8,080,609	8,250,000
販売費及び一般管理費	支払手数料	3,343,352	3,500,000
	荷造運賃	1,066,070	1,100,000
	接待交際費	10,000	10,000
	広告宣伝費	3,847,314	4,000,000
	通信費	463,781	500,000
	消耗品費	1,276,062	1,300,000
	租税公課	34,650	40,000
	諸会費	107,152	110,000
	修繕費	62,830	500,000
	保険料	118,600	120,000
	水道光熱費	5,046,970	5,100,000
	賃借料	327,276	330,000
	運営協力負担金	2,400,000	2,400,000
	衛生費	802,915	900,000
	減価償却費	639,069	650,000
	雑費	510,542	600,000
販売費及び一般管理費　計		20,056,583	21,160,000
人件費・販売費・管理費　合計		28,137,192	29,410,000
営業損益金額		1,138,323	947,585
営業外収益		2,138,910	0
	受取利息	47,641	0
	雑収入	2,091,269	0
経常損益金額		3,277,233	947,585